

サービスの計測に関する検討会（第4回）議事概要

1 日時 平成23年2月7日（月） 10:00～11:20

2 場所 総務省第2庁舎 3階第1会議室

3 出席者

構成員：総務省統計局、総務省政策統括官、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、日本銀行

調査研究受託者：株式会社インテージ

4 議事

(1) サービスの計測に対する需要調査の中間報告について

(2) その他

5 議事の概要

(1) 事務局からサービスの計測に対する需要調査（以下「需要調査」という。）を含めたサービスの計測に関する検討のスケジュール等について説明が行われた後、調査研究受託者から需要調査の中間報告としてアンケート調査結果について説明が行われた。その後、意見交換が行われた。

今後、アンケート調査の回答者の一部からヒアリングを実施し、3月に最終報告を取りまとめる予定。

主な意見等は以下のとおり。

- アンケート結果は、想定していた結果と大きく異なるものではないが、「卸売業、小売業」など一部、想定よりニーズが高いという印象を受けるサービス産業もある。
- これまで漠然ととらえていた統計ニーズの裏付けができた意義は大きい。
- アンケート結果の中に個別の統計調査に対する指摘があれば、その対応の可否は検討しやすい。
- 統計整備の優先度が高いとされた「情報通信業」などの産業は、価格の把握が難しい産業と言えると考え。ニーズが高いことが分かったので、具体的にどのように価格を把握するかについて今後検討していく必要があるだろう。
- ヒアリング調査では、次の事項についても聞くとよいのではないかと。
 - ・ アンケート回答者の既存統計の把握状況。例えば、アンケート結果で統計整備の優先度が高いとされた産業のうち「医療、福祉」や「金融業、保険業」では非常に多くの統計があるが、それらと今回の要望との関係。
 - ・ 統計整備を要望する具体的な観点。選択回答した観点等のより詳細な内容。
 - ・ 統計で把握する必要がある具体的な項目。選択回答した項目等のより詳細な内容。

(2) その他

次回開催は、平成23年3月末頃の予定。後日、メールにて連絡。

<文責：総務省政策統括官（統計基準担当）付統計審査官室
（速報のため、今後、修正の可能性あり）>